

事業所名

おひさまきつづ南国ごめん事業所

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

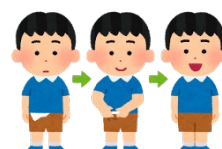
3月

27日

法人（事業所）理念		子ども達、家族、職員ともに常に笑顔で、子ども達の持つ無限の可能性で未来に笑顔をつなぎ、地域生活になじめるように目指します。											
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家、学校以外の居場所として安心して笑顔で過ごせる環境を設定します。</li> <li>・遊びや集団活動を通して強みを見つけ生かします。</li> <li>・生活能力向上の為に必要な社会的スキルを身につけてもらいます。</li> </ul>											
営業時間		平日	15	時	00	分から	18	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日		10	時	00	分	17	時	00	分		
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	別紙参照											
	運動・感覚	別紙参照											
	認知・行動	別紙参照											
	言語 コミュニケーション	別紙参照											
	人間関係 社会性	別紙参照											
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時、連絡帳による情報共有</li> <li>・必要に応じて面談、相談援助</li> <li>・家族の預かりニーズに応じた延長支援</li> </ul>						移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関への情報共有、情報提示</li> <li>・希望の進路先を見据えた本人、保護者との面談、相談援助</li> </ul>			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、相談支援専門員、併用事業所との情報共有</li> <li>・支援会議等への参加</li> <li>・地域の公共施設の利用</li> </ul>						職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に研修を開催（外部研修・事業所内研修）</li> <li>・スキルアップの為に研修参加</li> <li>・支援前、支援後に課題解決に向けたミーティング</li> </ul>			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の利用</li> <li>・海水浴</li> <li>・クッキング活動</li> <li>・お買い物体験</li> <li>・外食体験等</li> <li>・避難訓練（地震・津波・水害・火災）</li> </ul>											

# ①健康・生活

支援プログラム	ねらい
検温・気分把握	その日の気持ちの確認、健康状態をチェックし、自分の健康状態を把握する。
整理整頓	整理整頓のスキルを身につけ、自己肯定感をはぐくみ、自立を目指す。また、忘れ物がないように確認する。
衣服の調整 身だしなみ	気温や体調に合わせて衣服を調節して快適に過ごす。 また、シャツをズボン、スカートに入れる。
手洗い・うがい	正しい手の洗い方を視覚支援をしながら練習する。
トイレトレーニング	子どもの状況に応じて、定期的に声掛けしトイレを促します。 また、トイレに行くための生活スキルの習得する。
食育	おひさま給食で、苦手な物の克服、姿勢よく、よく噛んで食べる。
買い物	お買い物の仕方、お金の使い方、セルフレジの使い方を職員と一緒に練習する。
外食体験	外で食事をする経験、お金の使い方を練習する。
クッキング	調理器具の正しい使い方の練習をし料理の過程を体験してさまざまな感覚を刺激し、食への関心を高める。
掃除	掃除道具の使い方を学び、生活スキルの習得。
お手伝い	自立心、責任感、自己肯定感をはぐくむ。



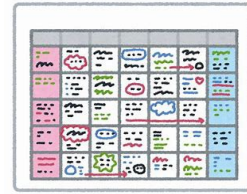
## ②運動・感覚

支援プログラム	ねらい
感覚あそび	子どもたちのバランス感覚や集中力を向上させ、楽しみながら身体的なスキルを発展させる。
感触あそび	粘土・クッキング・砂場遊び・スライムづくり等でさまざまな素材に触れて感触を楽しむ。
感覚統合	遊びや活動を通して、視覚、聴覚、触覚等の感覚を整理、統合する力を育てる。
ダンス、体操	身体能力の向上や表現力、コミュニケーション能力の育成、集中力の向上。
トランポリン	体幹や筋力、バランス感覚の向上、恐怖心を克服し、チャレンジ精神を向上。
バランスボール	体幹を鍛えたり、姿勢の改善、バランス感覚を向上し、感覚統合を促進させる。
力のコントロール	力の加減をはぐくむ遊びや、身体の動きをよく制する練習をする。
平衡感覚	片足立ち・片足けんけん等で平衡感覚を養い、バランスを保ち体幹の強化や姿勢の安定性が増し、バランス感覚の向上。
筋肉を意識的に使う バランス感覚	障害物またぎ・くぐり・手押し車・お尻歩き・クモ歩き・坂のぼり等で腕の筋力、腹筋、持久力を鍛える。



### ③認知・行動

支援プログラム	ねらい
視覚支援	イラストや文字などの視覚情報を使って、目で見て理解し落ち着いて生活ができる。
スケジュールボード	活動内容に見通しを持ち、落ち着いて行動することができる。
ブロック遊び	集中力を高め、想像力、協調性、共感性、記憶力を高める。
パズル、迷路	観察力、想像力、集中力、記憶力を養い「できた」と達成感や自信が持てる。
行動の切り替え	気持ちを落ち着かせ、スムーズに次の行動に移行することができる。
認知の偏りへの対応	認知の特性を踏まえ、自分にとってくる情報を適切に処理し「まあいいか」を増やす。
集団活動	共感や思いやりの心をはぐくみ、友達と協力して遊ぶことで、自分の役割を見つけ、主体的に行動する姿を養う。
空間・時間・数等の概念形成	遊びの中で数量の予測、大小の選択、色の認知、時間等の概念形成を図ることにより、認知や行動の手がかりとして活用できる。
ビジョントレーニング	目で見たものを正しく認識する力、自分の体をイメージ通りに動かす力を高める。
創作活動	想像力や表現力、自己肯定感、想像力豊かな感性を育む。



## ④言語・コミュニケーション

支援プログラム	ねらい
コミュニケーション	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさ、やりたいこと、やってほしいことを言葉で表現し相手にわかるように話す。
ふわふわ言葉	相手の立場を考えて、自分の言いたいことを適切な言葉を使って伝えられる。
カードゲーム	トランプ、カルタ、言葉集めや連想ゲーム等でルールを理解し、友達と関わる、記憶力、知的な意欲を高め、勝ち負けを経験することで感情をコントロールする。
SST	自分の感情や他者の感情を理解し困った場面の解決方法を学ぶ。
絵カード	絵カードやジャスチャー等で自分の気持ちを表現し、相手に伝える。
オノマトペ遊び	イメージ力を引き出し、表現力を育て言葉の幅を広げる。
声の大きさ	相手との距離感や場面に応じた声の大きさ、周りの人に合わせたボリュームで話す練習をする



## ⑤人間関係・社会性

支援プログラム	ねらい
挨拶	「ただいま」「おはよう」「こんにちは」「さようなら」が自然と言えるようになる。
ルール、マナー	集団活動を通して、社会的なルールやマナーを理解し協調性をはぐくむ。
ソーシャルスキルトレーニング	対人関係などのスキルを身につけコミュニケーション能力や、問題解決能力を高める。
公共交通機関	将来的に自立して外出等ができるように、時刻表の見方や運賃の支払い方の練習をする。
外食体験	公共マナーやテーブルマナーを身につけ、お金の使い方を学ぶ。
公園	身体を思いっきり動かし、体力を向上させ、順番や交代のルールを学ぶ。

